

2016年度 アルベルト ゼッダ特別名誉教授 声楽 特別講義

1. 日 時 : 2016年12月8日(木)13時30分～16時45分
2. 場 所 : F号館 214教室
3. 対 象 学 生 : 公開レッスン受講生 学内のみ他聴講可
4. 講 師 紹 介 : アルベルト ゼッダ氏 (Alberto Zedda)

イタリアのミラノ生まれ。ミラノにて音楽と人文学を学ぶ。1957年、イタリア国营放送 RAI 主催の若手指揮者のための国際コンクールで優勝。ミラノ・スカラ座をはじめ、欧米各地の歌劇場で国際的に活躍。演奏活動と共に常に音楽学への研究にも積極的に取り組み、基本的にはバロック音楽と19世紀前半からのオペラ、オラトリオ、カンタータ（特にロッシーニ、ベッリーニ、ドニゼッティ、ヴェルディ）の批判校訂版編纂に幅広く関わり高く評価されている。現在は、ペーザロのロッシーニ・オペラ・フェスティバル芸術監督、ペーザロのロッシーニ・アカデミー学長を務めている。わが国には2005年に藤原歌劇団の「ラ・チェネレントラ」の指揮で初登場し、それ以来度重ねて来日し、いずれも高い評価を受けた。2015年には、大阪音楽大学創立100周年記念の一環として、第53回大阪国際フェスティバルで、専任教員を中心としたキャストや、大阪音楽大学ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団、合唱団を率いて「ランスへの旅」を上演し、圧倒的な名演を披露した。それ以来、大阪音楽大学特別名誉教授に任ぜられ、本学と強い絆で結ばれている。

5. 講 義 概 要 :

【13:30～15:00】

湯浅 貴斗	(大4)	モーツァルト	《フィガロの結婚》より 「さあ、用意は出来た」
老田 裕子	(演奏員)	ロッシーニ	《セミラーミデ》より 「美しい光が」

【15:15～16:45】

長町 香里	(卒業生)	ロッシーニ	《ラ・チェネレントラ》より 「惨めだわ！私は信じていたのに」
南 さゆり	(演奏員)	プッチーニ	《ラ・ボエーム》より 「私の名前はミミ」

ピアノ伴奏：岡本 佐紀子 (教員)